

施策番号	0302		
施策名	課題に直面する青少年の総合的支援の推進		
概要	ニート、ひきこもり等、社会生活を円滑に営むうえでの課題に直面する子ども・若者に対して、個々の状況に応じた総合的・継続的な支援を推進する。		
担当局・部室	子ども若者はぐくみ局・子ども若者未来部	共管局・部室	
上位政策	3 青少年の成長と参加		
施策に関する主な分野別計画等	はばたけ未来へ！京都市ユースアクションプランー第3次京都市青少年育成計画ー		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		平成 30年度	令和 元年度	令和2年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	就職者数（人）	e	e	45	38	140	27.1%	e	1.00
2	定着率（%）	b	b	53	62	65	95.4%	b	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
客観指標総合評価		d	d					d	

2 市民生活実感評価

設問		平成 30年度	令和元年度							令和 2年度 ※
			評価	そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数	
1	青少年がニート（仕事も家事も通学もしていない15歳から概ね34歳までのひと）、不登校などの課題に直面したときに信頼して相談できるところがあり、支援がされている。	d	d	9	56	260	151	96	572	-
				1.6%	9.8%	45.5%	26.4%	16.8%		
2	-	-	-							-
3	-	-	-							-
4	-	-	-							-
5	-	-	-							-
市民生活実感調査総合評価		d	d							-

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

<総合評価>

平成30	D	令和元	D	令和2	D	施策の目的があまり達成されていない
重み付け	☒ 客観指標	課題に直面する青少年という対象者が限られた施策であり、市民の生活実態に施策の効果がすぐには反映されにくい性質があるため、客観指標総合評価を重視する。				
	☐ 市民の実感					

<原因分析>

客観指標総合評価

☐ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。

☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

・雇用状況の改善等から、支援対象者であるニート等のうち京都若者サポートステーションでの支援を経ずに就職できる者が増加し、新規登録者数が減少したこと（平成28年度：171人、平成29年度：104人、平成30年度：113人、令和元年度：90人）や、すぐには就職に結びつかず、就職するまで時間がかかるケースが増えていることが就職者数の減少につながっていると考えられる。

市民生活実感調査総合評価

☐ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。

☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

・課題に直面した時の相談機関等の情報が一般の方に認知されていないことなどからc評価以下で推移していると考えられる。

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>（令和元年度又は令和2年度新規事業）

	事業名	事業費の状況(千円)		令和2年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		令和元年度 決算額	令和2年度 予算額		
1					
2					
3					
4					
5					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・他の支援機関との連携強化を図るとともに、青少年活動センターとの連携事業や就労体験事業などをより充実し、支援対象者の就労意識の醸成を図るなど、支援対象者の課題に応じた支援を推進していく。

・サポステ（京都若者サポートステーション）に開設している高校連携専用窓口において、進路の決まっていない学校中退者等をサポステに確実に結び付け、切れ目のない支援を通じて早期の自立や進路決定を促す。

・一般の方への認知度が低いことが考えられることから、支援を必要とする潜在層が相談機関等につながるよう、リーフレットや冊子の活用により、相談機関等の周知・啓発を図る。

・これまで年齢ごとに分かれていたひきこもり相談窓口を、令和2年9月に一元化し、ひきこもり支援の入口を明確化する。また、各区役所・支所の保健福祉センターを中心に、ひきこもり支援等に取り組む関係機関の緊密な連携を図るとともに、年齢を問わない伴走型支援を行う「よりそい支援員」を配置する。

施策名	0302	課題に直面する青少年の総合的支援の推進					
-----	------	---------------------	--	--	--	--	--

指標名	就職者数（人）						
-----	---------	--	--	--	--	--	--

担当課	育成推進課			連絡先	7 4 8－0 0 1 6		
-----	-------	--	--	-----	---------------	--	--

1 指標の説明

京都若者サポートステーションの支援により就職した人数

2 指標の意味

課題に直面する青少年，とりわけ若年無業者への職業的自立支援の取組成果を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	平成30年度	令和元年度		数値	根拠	達成度
数値	45	38	7人減	140	国が設定した目標値に準拠	27.1%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値	-			-	

5 評価基準

達成度が
a：100%以上
b：80%以上～100%未満
c：60%以上～80%未満
d：40%以上～60%未満
e：40%未満

6 基準説明

達成度100%以上をaとし，以下20%ごとに均等に区分することで基準を設定した。

7 評価結果

平成30	令和元	令和2
e	e	e

1 指標の説明

京都若者サポートステーションの定着・ステップアップ支援を受けた者のうち，就職後6か月経過時点で就労している者の割合

2 指標の意味

課題に直面する青少年，とりわけ若年無業者への職業的自立支援の取組成果を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	平成30年度	令和元年度		数値	根拠	達成度
数値	53	62	9ポイント増	65	国が設定した目標値に準拠	95.4%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値	-			-	

5 評価基準

達成度が
a：100%以上
b：80%以上～100%未満
c：60%以上～80%未満
d：40%以上～60%未満
e：40%未満

6 基準説明

達成度100%以上をaとし，以下20%ごとに均等に区分することで基準を設定した。

7 評価結果

平成30	令和元	令和2
b	b	b